



大豊グループ トピックス

トヨタ自動車(株)より「技術開発賞」を受賞 (大豊工業(株) RRライン)



ライン長を40%削減したRRライン

表彰楯

2012年7月、RRラインでのエンジンベアリング量産を開始しました。RRラインとは、良品廉価ラインの略で、製法刷新による低コスト製法を確立し、製品の性能・機能を落とさず、新興国でコスト競争力を強化することを目的に開発し、量産を開始しました。従来、切削加工で確保していた精度を塑性加工化するなどして、工程集約を行い、工程数削減と原価低減を実現しました。今回、量産を開始した製品は直列4気筒1.3Lエンジンに採用され、低価格車の競争力強化に貢献しています。



トヨタ自動車(株)豊田社長(左)から表彰楯を授与される当社上田社長(右)

その成果がトヨタ自動車(株)より認められ、2013年2月、「技術開発賞」を受賞しました。この賞は、トヨタ自動車(株)で量産化された自動車に採用され、優れた部品・資材・設備に贈られる名誉ある賞で、当社を含めて今年15社が受賞しました。当社の受賞は、2002年の樹脂コート軸受の受賞以来、11年ぶりです。



生産される「RRメタル」



トヨタ ヴィッツなどの小型車に採用

北米 軸受生産ラインの増設 (タイホウ コーポレーション オブ アメリカ)



5ライン体制へ増強

ホンダ アコード(北米仕様)に採用

2012年8月、エンジンベアリング軸受の生産ラインを2ライン増設して、合計5ライン体制での操業を開始し、生産能力を月産180万個から月産300万個体制に引き上げました。拡販活動と既存顧客への生産増に対応するため、さらに生産能力を引き上げる計画をしています。

抄造技術※を活かした樹脂歯車の量産 (日本ガスケット(株))



抄造技術で造られた樹脂歯車

トヨタ クラウンハイブリッドに採用

2012年9月、樹脂歯車の量産を開始しました。この樹脂歯車には、日本ガスケットが長年培い、独自のノウハウを構築してきたソフトガスケットにおける素材造りの抄造技術や、材料のノウハウが活かされています。今回、量産を開始した製品は新開発の直列4気筒2.5Lハイブリッドエンジンのバランスシャフトに使用されています。金属製の歯車に比べて軽量、静粛性に優れていることはもちろん、独自の製法により加工工程を縮小、低コスト化を実現しています。

また、その加工法は精度確保にも寄与しており、その利用範囲は広く、今後の採用拡大が期待されています。

※抄造技術とは紙すきの原理で、繊維状の材料を絡めて成形する技術

T-MAC(計測解析)サービス 開始 (大豊精機(株))

大豊精機の品質保証を担う部門として計測解析センターを開設、その呼称を「T-MAC(TaihoSeiki Measurement Analysis Center)」として独自の技術を構築してきました。

この技術は、実体を3次元スキャンしてCAD化、それを新規物件のデータと整合性を検証するための一連のデジタルエンジニアリングです。スキャン手法には高いノウハウが必要で、T-MACでは巨大建造物からサブナノレベルの実体スキャンを可能とし、工業製品や設備はもとより、学術調査や教材の分野まで活用領域を広げています。